

総務文教委員会

政策課題 小中学校における不登校の実態と対応について

鈴木 弘 委員長コメント

総務文教委員会に付託された富士宮市体育施設と、富士宮駅前交流センターの2件の指定管理者の選定について審査を行いました。

選定委員会において、前者は富士宮市スポーツ協会・地域ステップアップサービスグループ、後者は公益社団法人富士宮市振興公社が選定されており、審査の結果、それぞれその選定を可決すべきものと決定しました。

次に、公共交通について所管事務調査を行いました。より利便性の高い公共交通システムを構築することは我々の願いです。更なる向上のためには、情報通信技術やAIを活用することが重要であると言いつつも、それについては先進事例を研究するという事に留まっています。

いろいろと研究をして実証実験等につながっていくことが期待されます。



先進地視察

視察内容 ・不登校特例校の開設の経緯と教育内容 (東京都大田区)
 ・e-City Labo (NTT)
 ・不登校特例校の開設の経緯と教育内容 (宮城県白石市)

文部科学省が設置を推進している「学びの多様化学校(旧不登校特例校)」である、東京都大田区立御園中学校分教室みらい学園と宮城県白石市の白石きぼう学園を視察しました。

どちらも1日のカリキュラムが決まっていて、通常校と同じ内容の授業を履修していました。そして、それぞれゆったりとした環境のもとで活動できるよう配慮されていました。今後、教育委員会と意見交換をしていきたいと考えます。

また、デジタルの活用について、調布市のNTT e-City Laboを視察しました。

市の業務の改善にプログラミングがいらぬノーコードというツールが有効であると知らされ、担当課に伝えたところ、導入を検討中であるという報告を受けました。使う人材の育成にも力を入れていただきたいと思います。



▲白石きぼう学園



▲NTT e-City Labo